

事業概要シート

施策 1802 利便性の高い公共交通の確立

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く
 ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く

事業名	J R 大村線関連事業	拡充	予算額	8,652 千円
			《 》	1,409 千円
事業期間	昭和52年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	437 千円
			一般財源	8,215 千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

令和4年度秋の新幹線開業に伴い、新大村駅、車両基地駅が新設され、それにより各駅施設の管理が新たに業務として生じる。各施設の維持管理を行い良好な状態に保つことで駅利用者の利便性を図る。

【概要】

- ①新大村駅西口駅前広場駐輪場管理及びトイレ清掃業務
- ②新大村駅駐車場管理運営業務
- ③車両基地駅前駐輪場、駅舎管理及びトイレ清掃業務
- ④車両基地駅駐車場管理運営業務
- ⑤諏訪駅前駐輪場管理業務

上記①③⑤業務をシルバー人材センターに委託予定
 ※現在管理している施設（岩松駅、竹松駅、向木場バス停等）の清掃業務等もシルバー人材センターに委託している。
 上記②④は関係業者の入札により委託予定

【対象】

各駅利用者



- 新大村駅**
- ・西口駅前広場駐輪場管理業務
 - ・トイレ清掃管理業務
 - ・駐車場管理運営業務



- 車両基地駅**
- ・駐輪場管理業務
 - ・駅舎清掃管理業務
 - ・トイレ清掃管理業務
 - ・駐車場管理運営業務

- 諏訪駅**
- ・駐輪場管理業務

【背景】

令和4年度秋の新幹線開業に伴い、新大村駅、車両基地駅が新設され、それにより各駅施設の管理が新たに業務として生じる。

担当課	産業振興部商工振興課交通政策室	室長	富浦 健
担当者	宮崎 政義	問合せ先	0957-53-4111（内線248）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	新大村駅西口駅前広場駐輪場管理 (年) (駐輪場内の清掃、自転車の整理)	計画値 回	0	52	104	104	104
②	車両基地駅前駐輪場管理 (年) (駐輪場内の清掃、自転車の整理)	計画値 回	0	52	104	104	104

【成果指標】

指標名		単位	R2 (実績)	R3 (計画)	R4 (計画)	R5 (計画)	R6 (計画)
①	新大村駅西口駅前広場駐輪場利用者数 (日)	計画値 人	0	0	110	110	110
②	車両基地駅前駐輪場利用者数 (日)	計画値 人	0	0	85	85	85

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費	1,244	1,349	1,409	8,652	12,906	12,906	38,466
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	423	947	437	437	437	437	3,118
一般財源	821	402	972	8,215	12,469	12,469	35,348
人件費	21,816	1,091	2,929	21,836	21,836	21,836	91,344
職員(人)	3.00人	0.15人	0.40人	3.00人	3.00人	3.00人	12.55人
時間外勤務(h)	0h	0h	10h	10h	10h	10h	40h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	23,060	2,440	4,338	30,488	34,742	34,742	129,810

妥当性 (市の関与)	市民が利用する公共性がある施設なので、市が維持管理を行うことは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	駅前の駐車場や駐輪場を整備し、トイレを含んだ周辺環境を維持管理することは、駅利用者の利便性向上に繋がるので有効である。
効率性 (コスト)	専門性のある事業や、単なる清掃管理の事業など、それぞれ適した事業者に委託することにより効率的に事業を進めていくことができる。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり